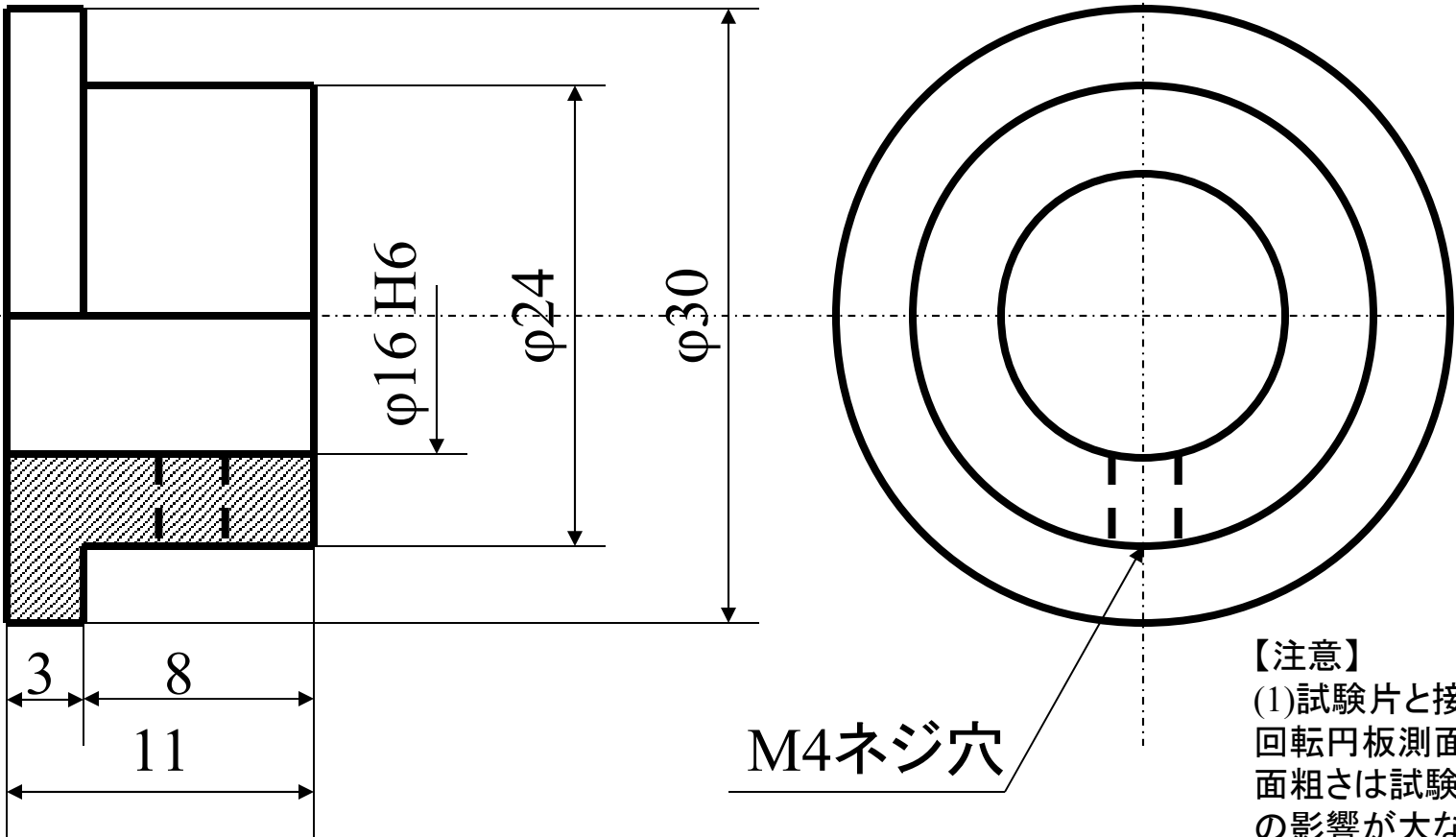


●大越式試験片: 回転円板概略(内径側面の粗さはRaで1.6μm以下が望ましい)



- 【注意】
- (1)試験片と接触する回転円板測面部の表面粗さは試験結果への影響が大なので同程度に粗さに加工するのが望ましい。
  - (2)特に指定の無い箇所はRaで25μm以下が望ましい。
  - (3)当所には円板のリフェーサー装置が無いので試験体と同数の回転円板を用意するのが望ましい。

●大越式試験片: 試験片概略(試験面の粗さはRaで6.3μm以下が望ましい)

